

2022 年を振り返って ～ 愛知県政 10 大ニュース ～

○ ジブリパークの開園

～夢だけど、夢じゃなかった「ジブリパーク」の開園～

- ・ジブリパークの「青春の丘」の施設の一つとして、愛・地球博記念公園内のエレベーターを再整備し、供用開始（3月）
- ・「魔女の谷」の演示工事に着手（7月）
- ・愛・地球博記念公園の玄関口となる北口広場の利用開始（10月）
- ・ジブリパーク開園前内覧会を開催（10月）
- ・旧料亭「稲本」の門を移築し、映画のような雰囲気をもつ「稲本楼門広場」を整備（10月）
- ・ジブリパーク開園を契機とした輸送力強化のためリニモ 09 編成を追加（10月）
- ・リニモ及び愛知環状鉄道において、ジブリパークをイメージしたラッピング車両を運行（10月）
- ・ジブリパークの開園を記念して、愛知県美術館にて「ジブリパークとジブリ展」を開催（10月～12月）
- ・ジブリパーク 3 エリア（青春の丘・ジブリの大倉庫・どんどこ森）が開園（11月）



エレベーター塔の除幕



ジブリパークオープニングセレモニー

○ 新型コロナウイルス感染症への対応

～県民の皆様の生命と健康を最優先に、ありとあらゆる対策を実施～

医療提供体制の充実

- ・臨時の医療施設を含め最大 94 病院 2,540 床の入院病床を確保
- ・軽症者等の療養を行う宿泊療養施設として、11 施設 2,737 室を確保
- ・「愛知県自宅療養者サービス窓口」を開設（6月）
⇒「受診・相談センター」と統合し、「愛知県健康フォローアップセンター」を設置（9月）
- ・県独自に陽性患者の転院の受け入れや陽性患者である妊婦の分娩を実施する確保病床を有しない医療機関に対する交付金を創設（8月）
- ・抗原検査、PCR 検査を合わせて、1 日あたり約 97,000 件の検査能力を確保



新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種会場
（名古屋空港ターミナルビル会場）

ワクチン接種の加速

- ・大規模集団接種会場において「キャンセル枠」を活用し、看護学生や警察職員、自衛隊員、保育士、幼稚園教諭等に「接種券なし接種」を実施
- ・若者の接種促進を図るため、大規模集団接種会場において「予約なし接種」を実施
- ・県独自に「新型コロナウイルスワクチン副反応等見舞金」を創設（4月）

愛知県まん延防止等重点措置の発出など

- ・「愛知県まん延防止等重点措置」を実施（1月～3月）
- ・「BA.5 対策強化宣言」を発出（8月～9月）
- ・「医療ひっ迫防止緊急アピール」を発出（12月）



医療ひっ迫防止緊急アピール

○ 愛知県政 150 周年

県政 150 周年記念の取組

- ・「わたしの大好き！な愛知」の写真を募集（6月～9月）、「わたしの住むまち あいちの未来」絵画コンクールを実施（7月～9月）
- ・県内花火事業者の支援を兼ねた花火イベントを開催（11月）
- ・航空自衛隊のブルーインパルスによる展示飛行を実施（11月）

県政 150 周年記念式典の開催（11月）

- ・県政の各分野で愛知県の発展に貢献された 1,742 団体・企業の皆様に感謝状を贈呈
- ・映画監督の堤幸彦氏の監修のもとで制作した県政 150 年の歩みを振り返る記念映像を上映
- ・経済界で活躍してこられた本県出身の丹羽宇一郎氏による講演
- ・愛知を代表する名古屋フィルハーモニー交響楽団による演奏

愛知県名誉県民顕彰式

- ・元トヨタ自動車工業株式会社取締役社長 故 豊田喜一郎氏及び元ソニー株式会社代表取締役会長 故 盛田昭夫氏を名誉県民として顕彰（5月）

あいち県民の日

- ・11月27日を県民の日とする条例案を県議会へ提出（12月）

あいち市町村フェア

- ・ジブリパークが開園した愛・地球博記念公園で、あいちの魅力を PR するため「あいち市町村フェア」を開催（11月～12月）



ブルーインパルス展示飛行



県政 150 周年記念式典



愛知県名誉県民顕彰式

○ スタートアップ・エコシステムの推進

～国内外との連携による「愛知発イノベーション」を目指す～

STATION Ai の整備と PRE-STATION Ai の運営

- ・STATION Ai の整備・運営事業者である STATION Ai 株式会社が「PRE-STATION Ai」の運営を開始（4月）
- ・2024 年 10 月のオープンを目指し、整備を進めている「STATION Ai」の設計を完了（12月）

海外団体等との連携協力

- ・イスラエルイノベーション庁と「研究開発及び技術的イノベーションにおける両者間協力に関する合意書」を、Start-Up Nation Central と「オープンイノベーション支援における連携協力に関する覚書」を締結（5月）
- ・シンガポール国立大学と「BLOCK71 Nagoya」を「PRE-STATION Ai」に開設することに向けた合意書を締結（8月）

イノベーションの創出

- ・愛知発のイノベーションを創出するため「革新事業創造戦略会議」を設置（7月）

あいち農業イノベーションプロジェクト

- ・燃油や肥料の高騰対策など喫緊の課題に対応した研究開発に着手（10月）



STATION Ai 整備イメージ



イスラエルイノベーション庁との合意書締結

○ 産業首都あいちの更なる強化

自動運転実証実験

- ・名古屋市内で、動く会議室をコンセプトとした移動時間に付加価値を与える車室空間の検証を行う実証実験を実施（9月）
- ・中部国際空港島及びその周辺地域で、日本で初めて、磁気マーカを活用した一般の自動車専用道路での走行を実施（10～11月）



名古屋市内での実証実験

スマートシティモデル事業

- ・スマートシティモデル事業に県内6市を選定（6, 10月）

グローバルインダストリー日本版の開催決定

- ・ヨーロッパ最大規模の総合的な産業展示会「グローバルインダストリー」の日本版「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE」の2024年3月開催が決定（5月）



高校生ロボットシステム
インテグレーション競技会
成果披露イベント

ロボット産業

- ・第1回高校生ロボットシステムインテグレーション競技会を開催（4月～12月）

○ 国際芸術祭「あいち2022」の開催（7月～10月）

- ・愛知芸術文化センターのほか、一宮市、常滑市、名古屋市有松地区のまちなかを会場として開催
 - ・「STILL ALIVE」のテーマ・コンセプトのもと、32の国と地域から100組のアーティストが参加
 - ・73日間で、約49万人の方が来場
- 《芸術・文化関連トピック》
- ・「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」を開催（9月）



国際芸術祭「あいち2022」
オープニングセレモニー

○ 「すべての人が輝くあいち」の実現に向けた施策の推進

人権施策の推進

- ・愛知県人権尊重の社会づくり条例を施行（4月）
- ・「あいち人権センター」を新たに開設（4月）



「あいち人権センター」開設式

ヤングケアラーへの支援

- ・愛知県ヤングケアラー理解促進シンポジウムを開催（8月）

中高一貫教育の導入

- ・県立高校10校への中高一貫校の導入を決定（7, 11月）

特別支援教育の充実

- ・本県初となる知的障害と肢体不自由の両方の障害に対応した「県立にしお特別支援学校」を開校（4月）



県立にしお特別支援学校開校記念式典

医療・福祉の充実

- ・県内7か所に医療的ケア児支援センターを設置（4, 12月）
- ・国立長寿医療研究センターの第2診療棟が開院（5月）
- ・東海市内に「重心施設にじいろのいえ」が開設（12月）

○ 愛知県新体育館整備の着実な推進

～2025年夏のオープンに向けて、建設工事に着手～

- ・スポーツ庁及び経済産業省が進める「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」に選定（3月）
- ・起工式を開催（7月）
- ・新体育館の設置及び管理に関する規定を追加する条例改正（10月）



愛知県新体育館起工式

○ 国内外から注目されるスポーツ大会の開催

第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会

- ・第5回アジアパラ競技大会の愛知・名古屋での開催が決定（4月）
- ・メイン選手村となる名古屋競馬場跡地の選手村後利用事業を担う契約候補事業者と施設計画及び工程計画等を定める「後利用基本計画」について合意し、「基本計画協定」を締結（8月）

FIA世界ラリー選手権

- ・日本では12年ぶりとなる「FIA世界ラリー選手権ラリージャパン2022」が愛知・岐阜で開催（11月）

マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2022

- ・世界最大の女子マラソンとしてギネス世界記録に認定されている名古屋ウィメンズマラソンなどを開催（3月）



ラリージャパン2022
セレモニアルスタート

○ 環境首都あいちの更なる推進

カーボンニュートラル（CN）の実現

- ・矢作川流域をモデルケースとし、「水循環」をキーワードに、官民連携でCNの実現を目指す「矢作川CN推進協議会」を設立（8月）

大規模水素社会実装の推進

- ・岐阜県、三重県、名古屋市、名古屋商工会議所、（一社）中部経済連合会、中部経済同友会及び中部圏水素利用協議会と「中部圏大規模水素社会実装の実現に向けた包括連携協定」を締結（2月）

SDGsの推進

- ・Aichi Sky Expoにて「SDGs AICHI EXPO 2022」を開催（10月）

木材利用の促進

- ・愛知県木材利用促進条例の施行（4月）
- ・愛知県木材利用促進シンポジウムを開催（7月）
- ・第20回アジア競技大会選手村後利用事業契約候補者グループと「建築物木材利用促進協定」を締結（9月）

生物多様性の保全の推進

- ・あいち生物多様性企業認証制度を創設（4月）、優良認証企業15社、認証企業25社を認証（11月）



「中部圏大規模水素社会実装の実現
に向けた包括連携協定」を締結



愛知県木材利用促進シンポジウム
での関係者による決意表明

その他の出来事

◆ 明治用水頭首工の漏水事故への対応

- ・愛知県西三河地域用水確保対策本部会議を設置（5月）
- ・明治用水土地改良区に現地詰所を設置し、農業用水の通水が円滑に行われるよう支援（5月）
- ・農業用水確保のため、土地改良区、市町が行う河川や排水路等への応急ポンプ設置等に要する経費を支援（6月）
- ・田植えの中断などを余儀なくされた農業者に対し、営農再開に必要な農業資材の経費を支援（6月）
- ・国に明治用水頭首工の復旧対策等を要請（6, 7, 11月）



野村農林水産大臣へ要請

◆ 安心・安全なあいちの実現に向けた取組

防災

- ・南海トラフ地震を想定した「政府本部運営訓練」にて、内閣総理大臣官邸との間でテレビ会議訓練を実施（9月）
- ・80万人を超える県民の皆様に参加していただき、10回目となる「あいちシェイクアウト訓練」を実施（9月）
- ・大規模災害時に県内全域の活動を後方支援する「愛知県基幹的広域防災拠点」について、PFI事業の「実施方針」を公表（10月）、「入札公告」を実施（11月）
- ・内閣府・愛知県・常滑市地震・津波防災訓練の実施（11月）



あいちシェイクアウト訓練

安全

- ・津島警察署の供用開始（8月）
- ・高齢者の交通事故を防止するため、俳優の松平健さんを3年連続「高齢者交通安全広報大使」に任命（9月）



高齢者交通安全広報大使任命式

農業

- ・高病原性鳥インフルエンザへの対応（12月）

◆ 農林水産業の振興

- ・愛知県畜産総合センター豚舎が竣工（3月）
- ・愛知県森林公園において、「木材利用」と「森林づくり」をテーマとした「第70回全国植樹祭3周年記念イベント」を開催（4月）
- ・豊山町において「令和4年度愛知県植樹祭」を開催（5月）
- ・「“SHIN化”する『いきいき食育』あいちから」を大会テーマとした「第17回食育推進全国大会 in あいち」を開催（6月）
- ・オランダ王国アルメーレ市で開催された「2022年アルメーレ国際園芸博覧会」に出展し、「花の王国あいち」をPR（9月～10月）



第17回食育推進全国大会 in あいち



新名古屋競馬場開場式典

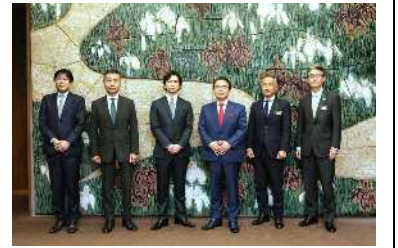
◆ 名古屋競馬場の移転

- ・73年間にわたり、土古競馬の名称で親しまれてきた名古屋競馬場を閉場（3月）
- ・全国初のPFI事業により公営競技施設を整備し、弥富市にて新名古屋競馬場を開業（4月）

◆ あいち観光戦略

大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機とした観光振興

- ・県や市町、観光関係団体等を構成員とする「愛知県大河ドラマ「どうする家康」観光推進協議会」を設立（2月）
- ・観光誘客の拡大や土産品の販売促進等を図るためのロゴマークやキャラクターを作成（7月）



大河ドラマ「どうする家康」関係者訪問

武将・お城観光

- ・県内を始めとする様々なお城の魅力を紹介する「にっぽん城まつり2022feat.出張！お城EXPO in 愛知」を開催（3月）
- ・「サムライ・ニンジャ フェスティバル2022」を開催（11月）



戦国武将をモチーフにしたキャラクター

愛知県観光文化大使

- ・東海地方発の情報番組に出演するなど、幅広く活躍されている、A. B. C-Zの河合郁人さんを愛知県観光文化大使に任命（3月）



愛知県観光文化大使任命式

観光消費喚起に対する支援

- ・「あいち旅eマナーキャンペーン」、「LOVE あいちキャンペーン」（5月～10月）及び「いいじゃん、あいち旅キャンペーン」（10月～12月）を実施

◆ 交通ネットワークの整備促進

道路

- ・知多半島道路大府パーキングエリア（下り）をオープン（5月）
- ・西知多道路（知多市内）起工式を開催（12月）



知多半島道路大府PA（下り）完成式典

リニア

- ・リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会を開催（6月）、国等に早期全線整備を要望（6, 11月）
- ・リニア中央新幹線建設促進期成同盟会に静岡県が新たに加盟（7月）

中部国際空港

- ・政府・与党に第二滑走路の整備を始めとする機能強化の早期実現を要請（6, 12月）

◆ 国際交流の推進

- ・フランスのオーベルニュ・ローヌ・アルプ地域圏との間で、友好交流及び相互協力に関する覚書を締結（5月）
- ・中国の浙江大学との間で、包括交流に関する覚書を締結（6月）



オーベルニュ・ローヌ・アルプ地域圏との覚書締結式

◆ 行財政改革の更なる推進

- ・あいち行革プラン2020推進プロジェクトチーム「チームあいち」を設置（5月）

◆ ウクライナ避難民支援

- ・居住の場の確保を図るため県営住宅を提供（4月）
- ・生活一時金と、日本語学習などに必要なデータ通信のためのプリペイドSIMカードを支給（7月）
- ・オンライン日本語教室を開催（9月～12月）